

製品名: EDG-5 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab10301**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	39kDa

抗原情報

遺伝子名	S1PR2
別名	S1PR2; EDG5; Sphingosine 1-phosphate receptor 2; S1P receptor 2; S1P2; Endothelial differentiation G-protein coupled receptor 5; Sphingosine 1-phosphate receptor Edg-5; S1P receptor Edg-5
遺伝子 ID	9294.0
SwissProt ID	O95136
免疫原	抗血清はヒト EDG5 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 261-310

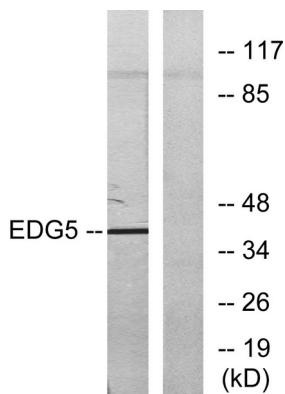
背景

この遺伝子は、Gタンパク質共役受容体のメンバー、およびEDGファミリーのタンパク質をコードしています。コードされているタンパク質は、細胞増殖、生存、および転写活性化に關与するスフィンゴシン1-リン酸の受容体です。この遺伝子の欠陥は、先天性重度難聴と關連付けられています。[RefSeq提供、2016年3月]、機能: リゾスフィンゴ脂質スフィンゴシン1-リン酸(S1P)の受容体。S1Pは、ほとんどの種類の細胞および組織に多様な生理学的効果をもたらす生理活性リゾリン脂質です。ラットHTC4肝癌細胞で発現すると、S1P誘導性の細胞増殖およびアポトーシス抑制を媒介することができます。、類似性: Gタンパク質共役受容体1ファミリーに属します。、

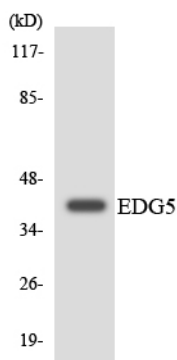
研究分野

神経活性リガンド-受容体相互作用;

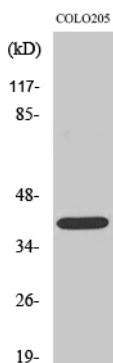
画像データ



EDG5抗体を用いたCOLO205細胞ライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。



EDG5抗体を使用したRAW264.7細胞の溶解物のウェスタンブロット分析。



EDG-5ポリクローナル抗体を用いた様々な細胞のウェスタンブロット分析

